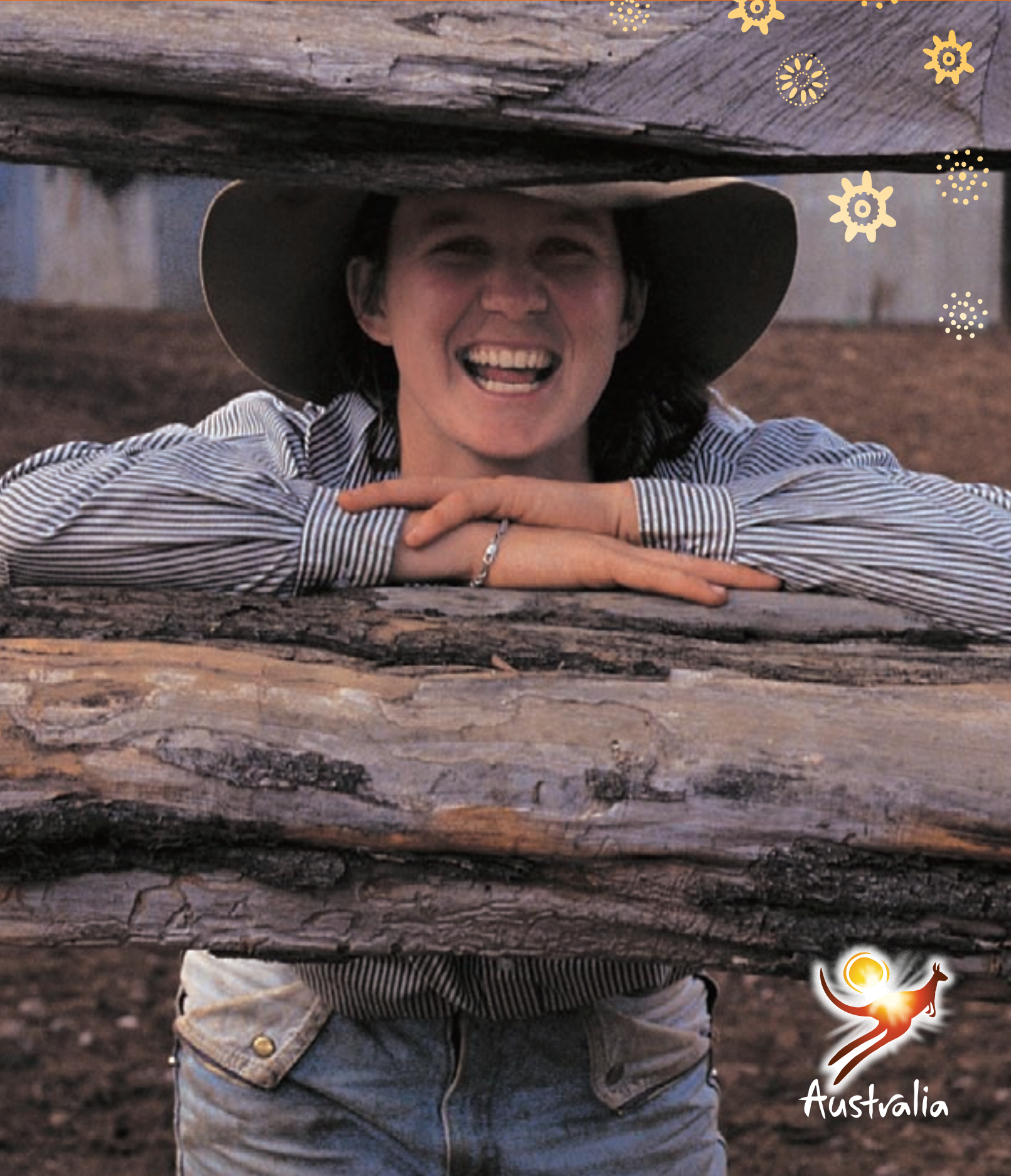


# AUSTRALIA

オーストラリア旅ブック







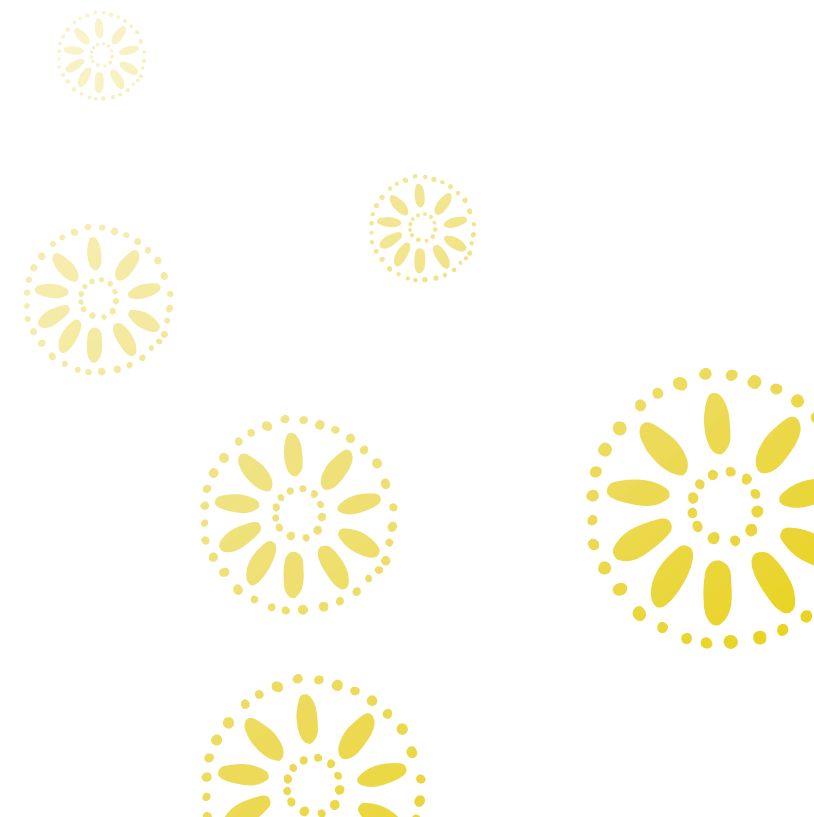
私たちの豊かな経験が、  
あなたの旅をより豊かなものに。  
その違いを、お確かめください。

なにかが、しみこんでくる。

これまでお客さまに接してきたなかで、気づいたことがあります。  
それは、理想的なフライト・クルーには、ふたつの条件が求められるということ。専門的な知識、そして温かく親しみのあるマナー。  
そのどちらも豊富にもっているのが、世界中でもっともフレンドリーな国のひとつであるオーストラリアのエアラインです。  
88年以上もの間、飛びつづけてきた私たちの格別なおもてなしを、あなたも。



空のオーストラリア。カンタス  
qantas.com





さあ、オーストラリア大陸へ。



あたらしい気持ち、あふれだす。

オーストラリアは、チカラがみなぎっている。

何億年もの地球が息づく、あるがままの大自然。

いつもユーモアにあふれた、どこまでもフランクで明るい人々。

そして、初対面からファースト・ネームで呼びあい、

誰もが笑顔で語りあえる自由な空気。

そんな、おおらかですすがしい大陸のエッセンスが、


この上ない幸せで気持ちを満たしてくれる。

生きている喜びでカラダを包んでくれる。

さあ、触れよう。次々とめぐりあう新しい体験に。

感じよう。わき上がる抑えきれない思いを。





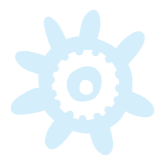
どこよりも緩やかな時間が、  
素のままの自分を見つけてくれる。



*Refreshing Resorts*

くつを脱いで過ごすだけで、すべての緊張がほぐれてくる。  
緩やかな空気に包まれているだけで、気持ちが自由になってくる。  
心がイキイキとしてくる。身体もワクワクしはじめる。  
本当の自分らしさが輝きだす。そんな気分でいられることが、何よりも気持ちいい。





ポート・ダグラス

# Refreshing Resorts

リゾート



©ハミルトン島

ハミルトン島

## ■ Island Resorts

白い砂浜、青い海、静かな時間。すべてをプライベートに味わう贅沢を。

何もしない贅沢を楽しむなら、グレート・バリア・リーフのアイランドリゾートがいちばん。充実した施設の中で、さまざまな過ごし方を選べるハミルトン島を中心に、少数のヴィラだけのベダラ島、究極のリゾートのヘイマン島など、特徴はさまざま。気休めではない本当のプライベートバカンスに身を沈めたい。



デインツリー国立公園

## ■ Retreats

原始時代のさえずりが心地いい、世界遺産の森に泊まる。

自然のいちばん近くで休めるのが、ケアンズ郊外のデインツリー国立公園やゴールド・コースト郊外のラumont国立公園内のロッジやコテージ。ピュアな空気に包まれながら、野鳥の声を聴かせたり、スパでまどろんだり。森林散策やリパークルーズなど、世界遺産を楽しむツアーにもすぐに出かけられる。



クイーンズランド州北部 / ロサム



ウルル・カタ・ジュタ国立公園

## ■ Outback Resorts

さまざまなリゾートで、砂漠地帯を快適に過ごす。

アウトバックと呼ばれる砂漠地帯で、世界遺産を巡る拠点になるのが大地の中のリゾート。壁一面の窓からウルルの雄大な姿を眺めたり、ライブラリーで文化にふれたり、一日中快適に世界遺産と大自然を楽しめる。プールやバー、スパなどがそろった贅沢なホテルから気軽に泊まれる場所まで幅広い。施設内で予約できる各種ツアーも魅力のひとつ。

地球の懐の深さが、何ともいえず心地いい。

ここで何があっただろう。どう変化して今の環境になっただろう。この先どう変わっていくだろう。ヘイマン島やフレージャー島、ウルルの砂漠地帯、行く先々のリゾートで共通して感じたのが、そんなこと。普通にくつろいでいても、知らぬ間に自然と向きあうというか、地球と向きあうというか。オーストラリアのパカンスは、そんな懐の深さを感じさせてくれる。それがとても心地いいんです。ここは、世界でいちばん古い大陸といわれていますから。その歳月の長さがきっと、体を包んでくれているんだと思います。



山下マヌー  
旅行コラムニスト

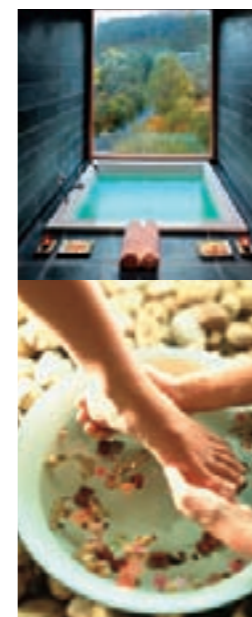


グレート・バリア・リーフ

## ■ Snorkelling & Diving

海の中の熱帯雨林で、もうひとつの地球にふれられる。

シュノーケリングやダイビングなら体長10mものジンベイザメと泳げる西オーストラリアのニンガルー・リーフ、そしてグレート・バリア・リーフが、いちばんのエリア。ほかにも大陸を囲むように見どころは多く、熱帯魚やジュゴン、マンタ、沈没船など、一年中楽しみはつきない。時期によっては珊瑚の産卵やミンククジラにも出会える。海中展望室や水中ウォークでも気軽に海の世界を楽しめる。



左上：タスマニア / クレイドル・マウンテン 右：デインツリー国立公園

## ■ Spa

世界遺産の森の中で、全身をミネラルでいっぱいにする。

クイーンズランドの湿潤熱帯地域やタスマニアの森の中などでは、オーストラリアならではのスパを体験できる。トリートメントの多くは、オーストラリア産の泥と植物と海藻、そしてアボリジニが聖水とする滝の水などを使い、彼らの自然療法を取り入れた独特なもの。体が太古のミネラルで満たされる。





空も生きている。  
これが、本当の地球の色なんだ。

バヌル国立公園/バングル・バングル ©Masaaki Aihara

## World Heritage

昼の青と大地の赤の美しいコントラストに、夕暮れがにじむ。  
太陽が、黄色やオレンジ色に雲の色を染めながら、同時に、  
すべての色が踊るように、めまぐるしく混ざりあい、やがて夜の闇に包まれていく。  
果てしない大陸を見守る表情にも、数億年前の地球がそのまま残っている。



# World Heritage

世界遺産



左：タスマニア/クレイドル・マウンテン 右上：タスマニア/マウント・フィールド国立公園 右中・右下：フレーザー島

## ■ Islands

世界一ピュアな島と世界最大の砂の島で、大陸とは違う自然を味わう。

世界遺産の島で代表的なのは、タスマニア島とフレーザー島。どちらも固有の動植物が豊富で、大陸とは違った独自の環境が広がっている。タスマニア島は、水、空気、緑のすべてがピュア。濃い森のエッセンスを感じられる。フレーザー島は、砂浜だけでなく熱帯雨林や透明度の高い湖もあり、島全体をさまざまなツアーで体験できる。



グレート・バリア・リーフ/ホワイトヘブン・ビーチ ©ハミルトン島 シャーク湾/ストロマトライト ©Masaaki Aihara シャーク湾/シェル・ビーチ

## ■ Beaches

大陸東岸の珊瑚礁と西岸のストロマトライト。ふたつの海で、果てしなく長い歳月を体験できる。

グレート・バリア・リーフは、数千万年かけてつくられた世界最大の珊瑚礁群、シャーク湾は、数十億年前から息づく世界最古の生命体・ストロマトライトが世界遺産登録の決め手。どちらも海の生き物たちの大切な住みかたで、カラフルな熱帯魚やジュゴン、ウミガメなどが生息。ダイビングやクルージングのほか、砂浜一面が貝でおおわれたシャーク湾のシェル・ビーチなどで、ただ静かにくつろぐのもいい。

オーストラリアの原生林では、森の見えない命を感じます。

いつも撮りたい樹を見つけたら、そっと手でさわったり顔をあててみるんです。ふれた部分を通して、樹の体温というか、やさしさのようなものが伝わってきます。森の妖精がふわっと体に染みこんでくる。そんな感覚です。そういうときシャッターを切ると、やっぱりいい写真が撮れますね。タスマニアをはじめ、原生林で意外と忘れがちなのが、実際に“さわる”ことなんです。足元の苔、キノコ、樹木、なんでもいいです。そっとふれてみてください。でも、決して自然を傷つけないでくださいね。



相原正明 写真家



カカドゥ国立公園

ウルル(エアーズ・ロック)

## ■ Outback

数億年の年月が積み重ねてきた、圧倒的な気配に包まれる。

壮大な地球の営みを肌で感じられるのが、アウトバックと呼ばれる砂漠地帯にあるウルルやバングル・バングル、カカドゥ国立公園などの世界遺産。印象的なのは、時間帯によって変化する空の色。遊覧飛行で上から眺める姿にも気持ちを動かされる。また、このあたりの地域は星空の美しさも圧倒的。時期によっては、絵の具で塗ったような天の川や星雲も肉眼で見つけられる。



ブルー・マウンテンズ国立公園/スリー・シスターズ

## ■ Native Bush

都市に寄り添う、原始時代の濃い緑に満たされる。

大陸南東部のラムントン国立公園やブルー・マウンテンズ国立公園、クィーンズランド湿潤熱帯地域は、太古から生きる野鳥や木の実など、大陸固有の野生の動植物が豊富。都市から近いので、日帰りでも泊まりでも、さまざまなカタチで気軽に原始の世界にふれられる。トレッキングをはじめ、たくさんのツアーがある。



ラムントン国立公園



ロイヤル・エキシビション・ビルとカールトン庭園



シドニー・オペラハウス

## ■ Cultural Heritage

散策しながら楽しむ文化遺産

2004年に登録された文化遺産、ロイヤル・エキシビション・ビルとカールトン庭園。1880年のメルボルン国際万博のために建てられた歴史ある建物で、街の中心から歩いてすぐ。当時の西洋建築にふれるなら昼の館内ツアーへ。散策を楽しむならイルミネーションの美しい夜がおすすめ。また、2007年に文化遺産に登録されたのがシドニー・オペラハウス。独創的なそのデザインは、色々な角度から楽しめる。